



2019 スキーシーズンに寄せて

鳥取県スキー連盟

会長 内田 博長

地震、豪雨、台風等々、本年も日本各地でたくさんの自然災害が起きました。被災された皆様、関係の皆様には先ずお見舞い申し上げます。

シーズンも近づき、各スキー場ではリフトの準備が始まってきました。会員の皆様には、雪の到来をさぞ心待ちにされていることと思います。昨シーズンは終盤の雪解けが早かったものの、皆様のおかげでほぼ全事業を計画通りに実施することができました。皆様には、陰に日向に本連盟の事業・活動にご尽力いただいておりますこと、心より深く感謝申し上げます。今シーズンも様々な面でお力添えをお願いすると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、全日本スキー連盟では、先シーズンの韓国オリンピック参加等を踏まえ、すでに次回開催（2022年）の中国での冬季オリンピックに向けて、執行部体制や機構改革をしながら新たな取り組みが始まりつつあります。昨シーズンの全日本選手権SLがテレビ中継されるなど、スキー人口拡大やスキー熱の高揚などのため、新たな取り組みも始まるようです。取り組みの一つを紹介しますと、星野リゾートの星野佳路氏にも理事に就任いただいております。より多くの方が安全で楽しいスキーライフをおくれるよう、スキー場や周辺環境整備等にもみんなで取り組んでいくようです。早速、全国のスキー場関係者との懇談会も開催されました。

また、2年目を迎える西日本ブロック協議会では、運営も軌道にのり、様々な事業が本格的に動き始めております。来るシーズンでは、西日本ブロック内の各県連盟が力を合わせ、合同で開催される事業等も計画されています。

本連盟におきましても、例年に準ずる事業や活動で新たな方策等を考え、来るシーズンに向けての準備を進めているところです。スキー人口の減少などの課題があるなかではありますが、スキー界の一層の発展のため、会員の皆様には今後とも多大なるご理解とご協力をお願いいたします。

スキー人口の増加はもとより、例年以上の成果が出せるよう、また、何より会員の皆様はじめ全スキーヤーの皆様に安全に楽しくスキーを堪能していただくよう、役員一丸となって努力してまいります。役員と会員の皆様、スキー愛好者、スキー場の皆様、関係の皆様と手を取り合い、さらなる発展を目指したいと思っております。今後とも皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、日頃より本連盟に多大なるお力添えをいただいております鳥取県、鳥取県体育協会の皆様、県内各スキー場の皆様、関係の皆様に厚くお礼申し上げ、また、変わらぬご理解とご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

2018年10月